

## 第49回横浜労災病院地域医療支援委員会議事録

- 【開催日時】 平成31年2月27日（水） 19:30～20:20  
【場 所】 横浜労災病院 管理棟地下大会議室  
【出席委員】 恵比須委員長 内藤副委員長 山本委員 清水委員  
岩田委員 大山委員 池田委員 池谷委員 坂本委員  
安江委員 保刈委員 高野委員  
【欠席委員】 原委員 近藤委員

### 1 開会

### 2 三上副院長挨拶

### 3 議事

#### (1) 平成30年度病病・病診連携サービス実態調査について（松本連携係長より説明）

##### 1 本調査の概要

平成29年9月1日から平成30年8月31日まで、当院に紹介のあった3,884医療機関のうち、旧横浜北部医療圏（港北区、神奈川区、緑区、都筑区、鶴見区、青葉区）内の1,388医療機関を調査対象母体とし、機構本部からの最低回答必要数94医療機関を確保するため、概ね300医療機関を調査対象と見込み、老健施設など一定条件を除く、紹介件数10件以上あった426医療機関を調査対象とした。調査対象医療機関に依頼した結果、130医療機関からの回答を頂いた。（回答率30.5%）

##### 2 病病・病診連携サービス実態調査結果について

実態調査結果について、「診断結果等の報告状況について」は、当院が昨年度より取り組みを強化していた項目であり、①報告書が届く時間：満足度74.0%（前年度66.9%）③紹介患者の最終報告：満足度72.1%（前年度58.6%）、と取り組みの成果が反映された結果となった。また、「治療水準の満足度について」の重視度から、診断：95.3%、治療：95.3%、手術：94.4%と当院への期待が高いことがうかがえる。「緊急時・時間外のシステムについて」は、重視度が88.1%に対し、満足度が55.1%と低く今後の課題である。「逆紹介について」の満足度は59.1%（前年度49.2%）と改善が進んでいる。

##### 3 横浜労災病院独自調査項目結果について

「登録医制度について」は、②「予約専用電話の受付時延長（19時まで）」の満足度が94.7%と高いが、③「時間延長を知っていたか」の認知度が41.9%と低いことから、広報をより進めていく必要がある。「横浜労災病院からの情報発信について」は、①「横浜労災病院だよりの内容」の満足度が97.0%、②「ホームページの内容」の満足度が95.9%と高かった。自由意見については、概ね好意的な評価を頂いているが、経過報告書についての内容や報告書が届かないなどの厳しい意見もあり、真摯に受け止め改善に努めていきたい。

#### 4 病病・病診連携サービス実態調査の結果を受けての当院の取組

当院では平成29年11月より経過報告書の運用を変更した。平成30年4月には、転入医師に対し、経過報告書に係る院内ルールに関するオリエンテーションを2日間実施した。また、緊急時の受診についても、外来診療中であっても、連携室より連絡があれば、迅速に協力して頂けるよう依頼した。

(池田委員) 横浜労災病院独自調査項目結果の5「その他の救急患者の紹介について」、昭和大学藤が丘病院が掲載されていないのはどうしてなのか。

回 答→ 資料では、上位5位の医療機関を掲載しており、アンケートでは昭和大学藤が丘病院についても回答をいただいているが、5位以内ではなかった。

#### (2) 登録医療機関紹介に係る取組みについて (松本連携係長より説明)

##### 1 登録医療機関紹介に係るホームページのリニューアルについて

従来は、各区ごとに登録医療機関の一覧を添付し、情報もホームページ上での検索が出来ず、横浜市医師会の医療機関検索を主に利用していた。

ホームページ更新後、当院の「登録医療機関検索」のバナーや地域医療連携の「登録医療機関について」をクリックすることで、登録医療機関が区市別・医歯別の絞込みが出来るようになった。また、診療所名称からのフリー検索も可能となった。平成30年11月には各登録医療機関へアンケート調査を実施し、医療機関の個別情報も載せられるようになった。

##### 2 医療機関紹介(逆紹介)に係る検索システムの導入について

地域医療機関の検索は、従来横浜市医師会の医療機関検索を利用していたため、検索に時間を要していた。現在は「メディマップ」の医療機関検索システムを導入し、タブレットを用いることにより、患者と一緒に希望医療機関を検索することが可能となった。また、登録医や独自情報を限定しての絞込みもできるようになった。さらに、登録医療機関の写真等掲載も可能である。

(岩田委員) 医療機関検索タブレットは、地域の医療機関が利用できるのか。

回 答→ タブレットは、患者や当院医師が逆紹介先を選ぶために医療機関情報を検索しているため、院内での利用に限られている。

(岩田委員) 病病・病診連携サービス実態調査について、全ての項目に記載しなくてはいけないのか。

回 答→ 記載できる範囲での協力をお願いしたい。

(3) 市民公開講座について（松本連携係長より説明）

1. 第16回市民公開講座について

① 日 時：平成30年7月13日（金）14：00～16：00

② 場 所：横浜ラポール（ラポールシアター）

③ テーマ：知って得する健康講演会

第1部「すい臓がんを知ろう」～早期診断から治療まで～

講師：消化器内科副部長 関野 雄典

第2部「膝・股関節の痛みでお悩みの方へ～その原因と治療法～」

講師：整形外科・人工関節外科副部長 小泉 泰彦

④ 参加者：233名（港北区、神奈川区、緑区の参加が多かった）

⑤ アンケート回収：170枚（73.0%）

⑥ 広 報：広報よこはまとタウンニュースからの周知が多かった。

2. 第17回市民公開講座について

（平成30年11月の世界糖尿病DAYに併せて糖尿病療養委員会との共同開催）

① 日 時：平成30年11月6日（火）13：00～16：00

② 場 所：横浜ラポール（ラポールシアター）

③ テーマ：知って得する健康講演会

第1部「糖尿病ってどんな病気？～最近の話題も含めて～」

講師：糖尿病内科副部長 鶴谷 悠也

第2部「メディカルスタッフによるリレーレクチャー」

・私たちの健康レシピ集 管理栄養士 張 日怜

・自宅でもできる運動療法 理学療法士 玉樹 雅徳

・糖尿病に関する検査について 臨床検査技師 関 忠幸

・お口がニオッタのはなぜ？ 歯科栄養士 護摩堂 栄里子

・大事にしよう私の足 看護師 野地 俊成

・飲み薬のイロハ 薬剤師 岡本 麻里

第3部「糖尿病患者さんの眼科疾患」

講師： 眼科部長 加藤 徹朗

④ 参加者：168名（港北区、緑区他、小田原市など遠方からの参加もあった）

アンケート回収：116枚（69.0%）

広 報：前回同様、広報よこはまとタウンニュースからの周知が多かった。

(4) 登録医の会・意見交換会について（松本連携係長より説明）

1. 第21回登録医の会・意見交換会について（報告）

① 日 時：平成30年7月24日（火）19：30～21：30

② 場 所：新横浜グレイスホテル

③ 参加者：34医療機関36人（平成30年5月31日末562登録医療機関）

④ プログラム

（第1部 登録医の会）19：30～

1、脳神経血管内治療科の現状と最近の話題

（脳神経血管内治療科副部長 戸村 九月）

## 2、当院の診療トピック

「頭頸部がん診療の実際」	耳鼻咽喉科部長	塩野 理
「小児の食物アレルギー」	小児科副部長	小笹 浩二
「呼吸器内科の最近の取組」	呼吸器内科部長	伊藤 優
「小児形成外科のご案内」	形成外科部長	山本 康
「『メンタルろうさい』の活用」	勤労者メンタルヘルスセンター長	山本 晴義

## 2. 第22回登録医の会・意見交換会について

- ① 日 時 : 平成31年2月19日(火) 19:30~21:30
- ② 場 所 : 新横浜グレイスホテル
- ③ 参加者 : 33医療機関35人(平成30年12月31日末581登録医療機関)
- ④ プログラム

(第1部 登録医の会) 19:30~

「下肢静脈瘤レーザー手術」	臨床工学部長/心臓血管外科	安藤 敬
「上肢の末梢神経障害」	手・末梢神経外科部長	山本 真一
「脱毛症診察の実際」	皮膚科部長	齊藤 典充
「超音波内視鏡を用いた治療」	消化器内科副部長	関野 雄典
「登録医療機関紹介に係る取組について」	地域医療連携室	松本 賢司

(高野委員) 月に2回連合町内会の会長が集まる会議を実施している。連絡していただければ町内会の掲示板等に市民公開講座の広報ができるので協力したい。

(内藤副委員長) 市民公開講座について、参加者が60代以上の方が多い。40~50代の市民向けに日程時間等を調整していただけないだろうか。

回 答→ 現在は平日の午後で開催しているが、演題の内容(乳がんなど)により、若い世代向けであれば、休日開催を含めて検討したい。

(岩田委員) 市民公開講座の開催について規定があるのか。

回 答→ 特に規定はないが、年2回の開催、そのうち1回はがん診療連携拠点病院であることから、がん関係の内容を行うこととしている。

## (5) 広報誌「労災だより」について(今年度6回発行した:松本連携係長より説明)

- 第7号(2018年6月)「高気圧酸素治療」
- 第8号(2018年7月)「小児科で扱う新たな専門分野」「外科診療体制」
- 第9号(2018年9月)「骨折(運動器外傷センター)」
- 第10号(2018年11月)「神経内科診療体制」
- 第11号(2019年1月)「リウマチ・膠原病センター」「小児形成外科」  
「耳鼻咽喉科とがん」
- 第12号(2019年3月)「皮膚科毛髪専門外来」「消化器外科 最近の話題」  
「母体搬送受入」「新生児内科診療体制」

## (7) 質疑応答・意見交換

(岩田委員) 2～3ヶ月に1回地域ケアプラザ協力医の会に参加している。労災病院の医師がケアプラザにて無償で講演していることを聞いた。詳細を教えて欲しい。

回 答→ 当院では、平成30年から出張市民講座を、港北区、神奈川区、緑区のケアプラザで行っている。これは、当院のスタッフが講演可能な演題を提示し、ケアプラザより依頼があれば、ケアプラザ主催の講演会として当院の医師や看護師等が講演を実施している。今年度は港北区8回、神奈川区と緑区で5回ずつ実施した。来年度は70程のテーマでケアプラザに案内している。なお、市民向けだけでなく医療従事者向けにも開催するほか、日程の都合がつけば休日でも開催している。

(保刈委員) 現在口腔がん治療について認識がされつつある。患者も心配して医師への相談が増えていると思う。労災に紹介された際は丁重に対応して欲しい。また、1月28日に労災で災害医療の講演会が開催されたが、9月のラグビーワールドカップやオリンピックの開催に向けて、労災における組織的な災害対応について教えて欲しい。

回 答→ ラグビーワールドカップやオリンピックの開催に向けて、行政との連携をとりつつ各分担について仕組み作りをしなくてはならない。現在消防に内々に相談している。今後皆様の協力をお願いしたい。

(内藤副委員長) 4月末から5月の大型連休について、労災の対応がどのようになっているか教えて欲しい。

回 答→ 4月30日と5月2日は当院の手術室を使用できるようにした。また、同日一部の診療科で受け入れができるよう調整している。なお、新患については、従来通り救急で受け入れをする。

(坂本委員) 先日労災にかかったが、検査や受付、ボランティアの方の対応が素晴らしく、フレンドリーで明るい病院で感動した。患者としてお礼を申し上げたい。

(恵比須委員長) 2ヶ月に1回開催される地域医療部会の中で、災害医療についての意見があり、今年6月より災害医療委員会を発足する。災害拠点病院の労災病院と、災害医療の合同訓練を行いたいので協力していただけないか。

回 答→ 以前は当院に年1度の災害対策訓練へ来て頂いていた。今年は9月7日に首都直下地震を想定した、政府防災訓練が行われ、全国から災害対策チームが集まることとなっている。その際に当院の災害対策訓練も併せて行いたいので協力をお願いしたい。

#### 4 閉会

(事務局からの説明)

委員の任期は3月31日までとなっているが、原則、来年度も委員の継続をお願いしたい。詳細については個別に相談し、次回の開催日も含めて追ってお知らせする。